



学
校
通
信

みなみ

伊勢崎市立南小学校
第13号
令和5年9月15日(金)

全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日(火)に実施された全国学力・学習状況調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として行われたもので、小学校の内容は国語、算数と児童の生活・学習状況に関するアンケート(児童質問紙)でした。本日、6年生に調査結果を配付しました。この調査結果は、学校全体の傾向を見るよい資料ですので、全校の保護者にもお知らせします。



【国語】本校は、全国平均正答率よりも上回りました。

良かったところ

学習指導要領に示されている「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」の内容に基づいた問題が出されていて、知識及び技能と思考力、判断力、表現力等のすべての分野で全国の平均正答率を上回りました。このようにすべての分野においてバランス良く正答できていました。その中でも「話すこと・聞くこと」と「読むこと」の分野で、全国の平均正答率を大きく上回りました。

課題と改善点

一方で、目的に応じて文章と図表などを結び付け、必要な情報を見付ける設問を苦手とした児童も見られました。このことを踏まえ、学習指導に当たっては、読む目的に応じて、複数の資料を読みながら、必要な情報を見つけ、その関係を考える学習活動に力を入れていきたいと思います。その際、文章や図表などで使われている語句で、繰り返し使われている語句や、似たような意味をもつ語句に着目するなどして、読み進められるように指導していきたいと思います。

【算数】本校は、全国平均正答率よりもやや下回りました。

良かったところ

「図形」の領域では、全国の平均正答率を上回りました。特に正三角形の意味や性質について理解をしているかどうかをみる問題をきちんと正答できた児童が多かったです。正三角形という図形をつくるために、どのような操作をすればよいか、図形の意味や性質を基に、見通しを立てることができました。

課題と改善点

「数と計算」の領域は、全国の平均正答率よりも下回りました。特に示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する問題を苦手とした児童が少なくなかったです。授業では、課題として示した場面を解釈して数量の関係を捉え、正確に式を用いることができるようにするとともに、どのように式を用いたのかを記述しながら説明できるように指導をしていきたいと思います。

児童質問紙の結果について

○全国平均を大きく上回っている項目 ▲全国平均を下回っている項目

《自分に関すること》

- 「自分にはよいところがある。」と回答した児童がとても多い。
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。」と回答した児童がとても多い。
- 「将来の夢や目標を持っている。」と回答した児童がとても多い。
- 「人が困っているときは、進んで助けている。」と回答した児童が多い。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思う。」と回答した児童がとても多い。
- 「学校に行くのは楽しい。」と回答した児童がとても多い。
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しい。」と回答した児童がとても多い。
- 「新聞を読んでいる。」「読書は好き。」と回答している児童がとても多い。
- 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい。」と
思っている児童がとても多い。
- ▲「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。」では、普
段の生活の中で幸せを感じている児童の割合が、全国平均を下回っている。
- ▲「家で自分で計画を立てて勉強していますか。」では、肯定的な回答が全国平均を下
回っている。
- ▲「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」では、肯定的な回答が全国平均を
下回っている。

《学習に関すること》

- 「国語の勉強は好き。」「国語の授業の内容がよく分かる。」と回答している児童がと
ても多い。
- 「算数の勉強は好き。」「算数の授業の内容がよく分かる。」と回答している児童がと
ても多い。
- 「英語の勉強が好き」と回答している児童がとても多い。
- ▲「学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思います
か。」では、ICT 機器の効果を実感している児童が少ない。

今後に向けて（まとめと課題）

児童質問紙の結果から、自分の良さを自覚し、自分なりの将来の夢や目標を持っている児童が多いことが分かります。そして、困っている人がいたら進んで助けてあげたいという優しい心と、自分は人の役に立つ人間になりたいという自己有用感が多くの児童に育っていることが分かりました。今後は、児童が地域の行事に多く参加するように、学校の方でも機会を作ったり、子供たちに働きかけたりしたいと思います。



学習面では、国語、算数、英語等の学習に興味を持って取り組んでいる児童が多いことが分かりました。引き続き子供たちにとって楽しく、分かる授業を心がけていきたいと思っています。一方で、家庭学習の進め方に課題があることも分かりましたので、児童が自主的に取り組む家庭学習のあり方について指導していききたいと思います。あわせて、ICT 機器を授業で効果的に活用し、児童が ICT 機器の効果を実感できるように指導を工夫していきたいと思います。